



株式会社セレスポ CERESPO CO.,LTD.
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 TEL:03 (5974) 1111 / FAX:03 (5394) 7651
<https://www.cerespo.co.jp/>



2020年9月発行

CERESPO
CORPORATE REPORT
2020

私たちの仕事は、 特別な日を創ることです。

セレスポは、年間10,000件以上のイベントをお手伝いしているイベント制作会社です。
全国に拠点をもち、セレモニー・スポーツ・プロモーション・フェスティバル・コンパニオンを
5つの柱に企画から当日の設営・運営に至るまで、トータルでプロデュースしています。
「イベント・ソリューション・パートナー」を目指し、イベントに関わる人々の感動と笑顔を創り続けます。



2020年3月期 業績

165億89百万円

売上高

12億8百万円

営業利益

14.7%

ROE
(自己資本当期純利益率)

8億2百万円

当期純利益



3,000社超

顧客数



約460社

10年間継続顧客



47都道府県

開催都道府県数



約400社

協力会社数

経営理念

株式会社セレスポは、
イベントを通じて自らを含む周囲の幸福を実現し、
笑顔のある明るい社会づくりに貢献する。

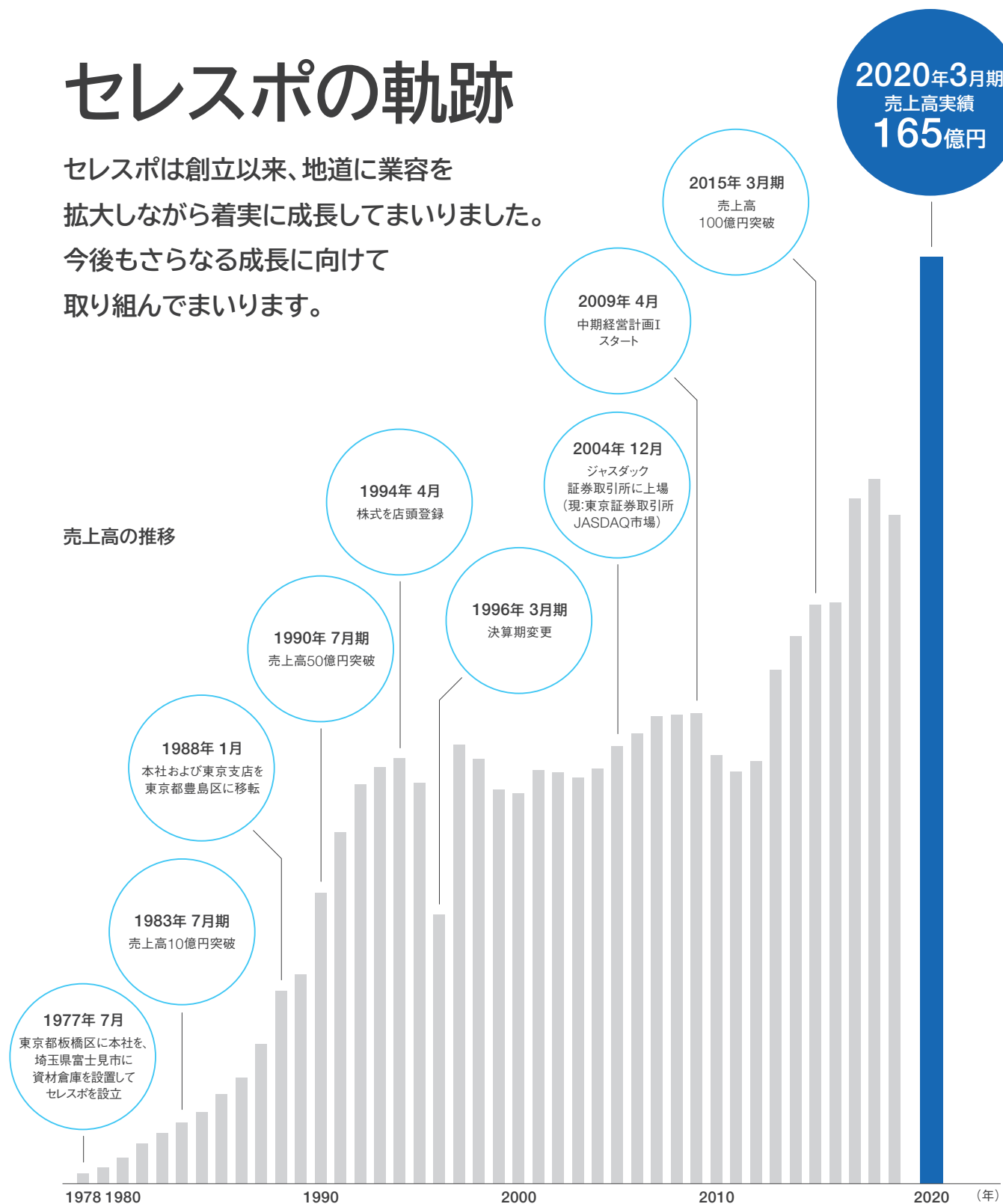
セレスポの幸福マンダラ



セレスポの軌跡

セレスポは創立以来、地道に業容を
拡大しながら着実に成長してまいりました。
今後もさらなる成長に向けて
取り組んでまいります。

売上高の推移



三菱建設様地鎮祭
セレスポの初イベント

長野五輪関連イベント
安全祈願祭を含め
様々なイベントを受注

愛・地球博
数々のパビリオンの運営を受注

第72回 国民体育大会
愛顔(えがお)つながえひめ国体
総合開・閉会式を受注

愛媛新聞提供



TOP MESSAGE

「セレスポの幸福」

この経営理念のもと、
継続企業を目指します

代表取締役社長
稲葉 利彦

2020年3月期の業績は過去最高を更新、 各競技団体からの評価も大きく向上しました

2020年3月期は、2018年にスタートした「中期経営計画Ⅳ」
が着実に実行され大きな成果につながりました。定量面では、
売上高、各利益などほとんどの経営指標において、創業以来
の記録を塗り替えました。また、定性面では、現場力の発揮
により各競技団体からの評価が大きく向上しました。

まず、定量面のハイライトとしては、競争事業において茨城
国体開閉会式などを勝ち取ったのに加え、「IAAF世界リレー
2019横浜大会」、そして「ラグビーワールドカップ2019日本
大会」という高単価の案件を受注したことが挙げられます。

また、定性面では、「IAAF世界リレー2019横浜大会」、
「ラグビーワールドカップ2019日本大会」などにおいて当社
の業務が高い評価を得たことが大きな成果でした。

「IAAF世界リレー2019横浜大会」では世界陸連の実行
責任者から、私に対して直接お礼の言葉をいただきました。

「ラグビーワールドカップ2019日本大会」でも当社の現場力
は随所で発揮されました。特に、10月13日の日本対スコッ
ランド戦では、会場が台風19号の雨や風により大きな被害
を受け、試合ができるか危ぶまれていたのに対して、効率的
な復旧作業により定刻での試合開始を可能としました。この
試合は、ベスト8入りがかかった両国チームにとっては大切な
一戦でした。スコットランド側からは中止になったら法的措置
も検討するというコメントが出されていたほどです。それだけに、
台風被害をはねのけて、試合を可能としたことで大会関係者
からは最大級の賛辞をいただきました。

この二つの世界大会は、社員にとっても今後につながる
貴重な経験となりました。総じて、計画に対して結果を得ること
ができた期であったと思います。

イベントの力で、「ポストコロナ」の 明るく前向きな社会づくりに貢献します

当社の経営理念は「イベントを通じて笑顔のある明るい
社会づくりに貢献する」ことです。この経営理念は、社内でも
自然に受け入れられています。それはイベントには大きな力
あることを皆知っているからです。

当社は、式典からプロモーション、スポーツ競技まで幅広い
イベントのお手伝いをしています。それらのイベントは、祝う、
願う、団結する、記念する、広めるなどそれぞれの目的を持って
行われます。さらに言うと、その目的の根源には「人の心に区
切りをつけて、次のことに導く」という真の狙いが潜んでいます。

新型コロナウイルスの蔓延で、私たちの社会は大きな打撃
を受けました。ビジネスでも個人の生活でも、以前は普通に
できていたことができなくなっています。式典を行うことができない
新築の建造物、発表会を開催できない新製品など、本来の
目的や狙いが果たせず封殺されたものが山積しています。

しかし、この状況は、いずれ必ず好転すると思います。ウイ
ルスにつまずき、一度は転んだ日本の社会全体が力を振り
絞って立ち上がろうとするときが必ず来ます。社会が立ち
直っていく過程では、様々な目的や狙いがイベントに託される
ことになるでしょう。

厚労省からは、いわゆる「ポストコロナ」の期間に入っても、
感染予防を主眼とした「新しい生活様式」は継続するように
指導が出ています。当社の扱うイベントについてはもちろん、
それらの指導に沿って「安心・安全」を合言葉として実施して
いきます。

イベントは、これからの時代ますます必要なものになると思
います。当社としてはイベントの力を十分に活用して、明るく
前向きな社会づくりに参加していきたいと思っています。

中期経営計画Ⅳ 基本方針

2024年に目指す姿

1
継続企業
の確立

2
最大収益
の追求

3
レガシー
の獲得

イベント・ソリューション・パートナーの実現

顧客から信頼され、企画の早い段階から共に作業し、
あらゆる段階における顧客の課題を解決して、
イベントに期待される効果を実現する

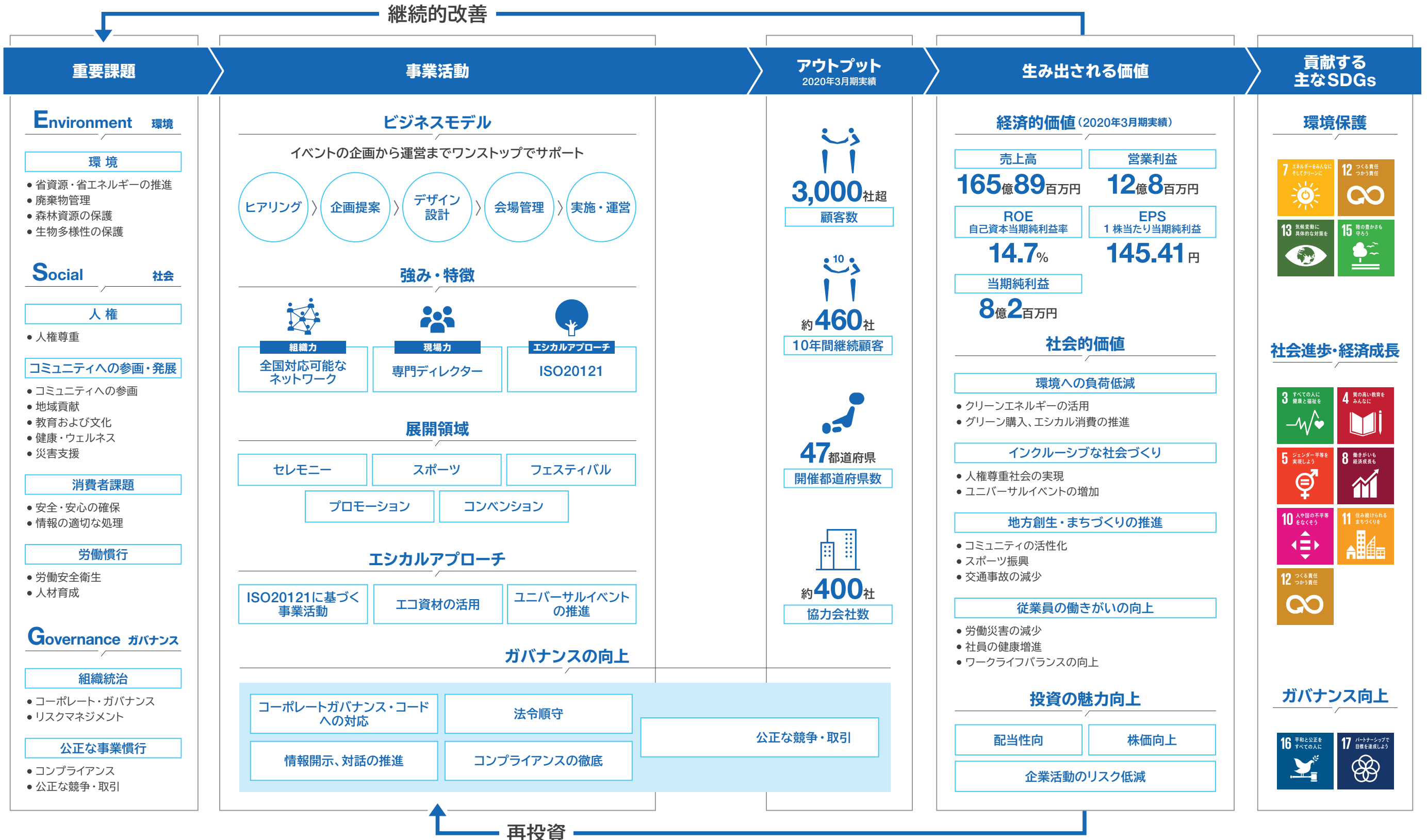
ビジネスモデルと価値創造

セレスポは、イベントの制作会社としてセレモニー、スポーツイベント、プロモーションイベント等、全国規模の大型イベントから地域密着型のイベントまであらゆるタイプのイベントを全国47都道府県でお手伝いしています。社員一人ひとりの柔軟な発想と創造力を基に企画から会場設営や運営までワンストップでサポートしていくことで、イベントに関わる人々の感動と笑顔をつくります。

直接体験の場であるイベントは、多くの関心を集めるとともに、情報発信の起点にもなります。このため、時代の求める変化に適応し、社会の期待や課題に添えていくことがイベント制作においても重要だと考えています。当社は、「イベント・ソリューション・パートナー」として、経済的・社会的価値の創出に努めることで、持続可能な成長を目指してまいります。

05

／ ビジネスモデルと価値創造



06

／ CERESPO CORPORATE REPORT 2020

部門別の概況

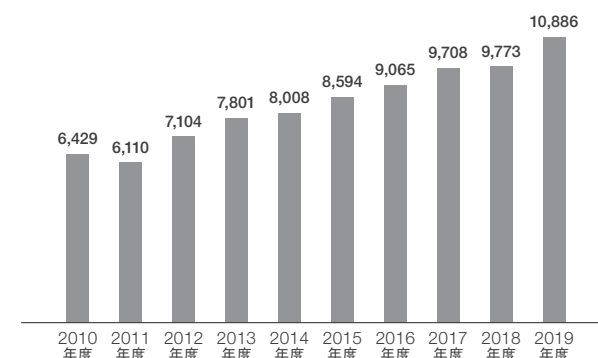


基本事業

各営業拠点が担当する、
様々なイベント領域

売上高構成比
65.6%

売上高の推移(百万円)



主なイベント

建設式典、記念式典、地域振興イベント、
文化イベント、プロモーションイベントなど

当期の業績

小規模案件を中心とした案件数が減少し、また、フェスティバル部門とコンベンション部門の大型案件の受注数が減少しましたが、国際的スポーツ大会に関する大型案件の受注数が増加したことによって受注額が増加しました。この結果、売上高は前期比11.4%の増収となりました。

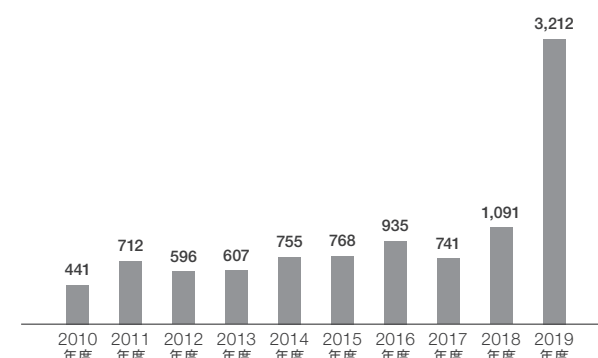


スポーツ事業

中央競技団体等が開催する
スポーツ・競技に関するイベント領域

売上高構成比
19.4%

売上高の推移(百万円)



主なイベント

日本陸上選手権、トライアスロン大会、
Vリーグ、日本女子ソフトボールリーグなど

当期の業績

小規模案件を中心として案件数が減少しましたが、国際的スポーツ大会等の大型案件の増加によって受注額が増加しました。この結果、売上高は前期比194.3%の増収となりました。

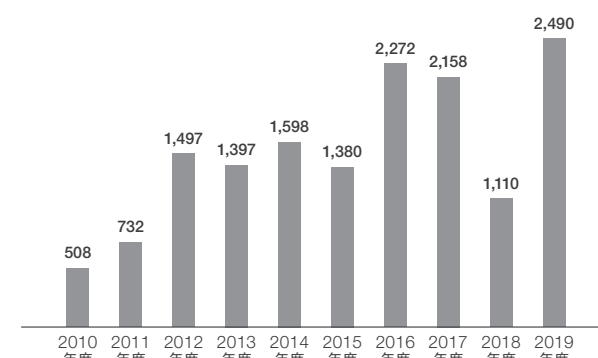


競争事業

皇室ご臨席行事を中心とした全国
持ち回りで開催されるイベント領域

売上高構成比
15.0%

売上高の推移(百万円)



主なイベント

国民体育大会、全国高校総体、
植樹祭、育樹祭など

当期の業績

大型入札案件の受注額が増加したことにより、売上高は前期比124.3%の増収となりました。

2019年度のポイント

- 国際的スポーツ大会および関連する大型案件の増加によって、スポーツ事業と基本事業が堅調に推移
- 大型入札案件の受注額が増加したことによって、競争事業が堅調に推移

2020年度の業績変動要因

- 新型コロナウイルスの感染状況、社会経済の活動レベル、イベントの開催動向

TOPICS

ラグビーワールドカップ
2019日本大会

日本中を熱狂の渦に巻き込んだ「ラグビーワールドカップ2019日本大会」では、弊社の拠点網を生かして全国12か所の試合会場のオーバーレイ(会場整備仮設)工事、公認キャンプ地の仮設設備設計業務・設営業務、ボランティア管理業務まで多岐にわたる業務を受託。全国各地の社員が業務に携わり、準備期間から大会終了まで現場力を生かした最大限のパフォーマンスを発揮することができました。この大会の成功体験を共有できたことにより、今まで以上のネットワークの構築・強化ができたことは、弊社にとっても大きなレガシーとなっています。引き続き、大型国際スポーツイベントならではの経験やノウハウ、ナレッジを生かして、より高品質なイベント制作につなげてまいります。





継続企業の確立に向けて

セレスポは、経営理念である「セレスポの幸福」を実践し、継続企業となるために必要な要素として、収益力、成長力、人材創造力、ブランド力の向上に向けて取り組みを進めています。

最大収益の追求

持続可能な成長を実現するために、収益体制の基盤強化に取り組んでおります。

スポーツイベントの受注拡大

開催が予定されている大型国際スポーツイベントの開催都市や全国的に展開される機運醸成イベントなどに対して、各拠点間の情報共有、業務連携を強めていくことで、受注率の向上に取り組んでいます。



競技団体への協賛

下記団体とのスポンサーシップを締結して、スポーツの魅力を伝えるために様々な活動に取り組んでいます。今後も、各団体と連携しながらスポーツ振興に取り組んでまいります。

スポンサーシップ（2020年3月現在）



(公財)
日本スポーツ協会



(公財)
日本陸上競技連盟



(公社)
日本トライアスロン連合



(一社)
日本バレーボール
リーグ機構



(一社)
日本パラ
陸上競技連盟



(公財)
日本ハンドボール
協会



日本ハンドボール
リーグ機構



日本女子ソフトボール
リーグ機構



(公社)
日本ボート協会



(公財)
横浜市スポーツ協会



北海道日本ハム
ファイターズ

成長への挑戦

継続企業となるために、ゴールデン・スポーツイヤー後を見据えた取り組みを進めております。

各事業領域の挑戦と拡大

創業以来培ったスキル・ノウハウとネットワークを最大限に活用し、スポーツイベントや国際大会への参画を図るとともに、成長産業化に伴うビジネスに挑戦することで、スポーツ事業領域の拡大を試みます。また、基本事業においては地域のシンボリックイベントへの参画を進めながら、インバウンド需要への対応、大阪・関西万博やアジア競技大会等、地域の特性や状況に合わせた事業提案を進めることで、領域拡大に取り組めます。



社会価値の向上

スポーツ振興や地域社会貢献に取り組むことで、「セレスポの幸福」を体現し、企業の社会的価値の向上を図ります。

共生社会への理解を深め、より良いイベントの実現に向けて

私たちの目指す「障がいの有無や年齢・体力の差によらず、誰もが参加でき、楽しめる」イベントの実現には、イベント会場だけでなく、社会全体の日常生活での意識の変化も必要です。現在のパラスポーツへの関心の高まりを生かし、体験会を開催することで、パラスポーツを楽しみながら、みんなと一緒に楽しむための発想を育み、「障がいのある人」ではなく周囲にいる「サポートの必要な人」への対応力を養う機会を提供しています。

人材の創造・育成

働きやすい環境づくりに取り組むことで、多様な人材の受け入れと生産性の向上を目指しております。

成長意欲を高め、長く働き続けられる環境の提供

社員の職種・職層に合わせた研修プログラムを整え、業務スケジュールに合わせて受講できる研修機会を提供することで、「顧客起点の発想」と「現場力の発揮」をテーマとしたイベント制作の品質向上と人材開発・組織開発を進めています。個人の状況やライフステージに適したキャリア形成が実現できる環境や支援を整え、柔軟な働き方を推奨していくことで、社員が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。





エシカル アプローチ

セレスポは、事業活動を通じて、
様々なステークホルダーとの良好な関係を
築くことを重視しています。
この方針を体現するためにISO20121を活用し、
持続可能な社会の実現に貢献します。

ISO20121の推進

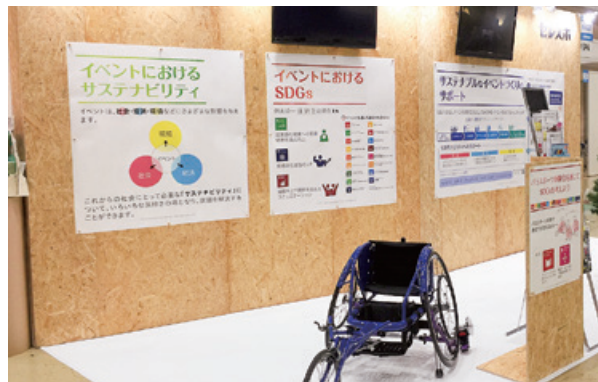
「セレスポの幸福」を実現するものとして全拠点を対象
に取得したISO20121を活用しております。各部署から
の選出メンバーで構成される推進チームが中心となり、サス
テナビリティの進捗管理と見直しを行い、課題抽出と施
策の立案・実施を繰り返しながら、全社の取り組みへの活
動を広めています。

ISO20121とは

ISO20121とは、イベント産業における環境面、社会面、経済面へ
の影響を配慮したマネジメントシステムを実証するための規格で
あり、オリンピックをはじめとする大規模な国際イベントから地
域レベルのイベントまで、主催者・制作会社をはじめとしたイベ
ントに関わる全てのステークホルダーが活用できる規格です。

サステナブルイベント研究所

2013年にサステナブルイベント研究所を設立し、国際
イベントでの対応力強化、国内イベントのレベルアップなど
イベントに関わるさまざまな立場からサステナビリティ(持続
可能性)に関する研究、推進に取り組んでいます。2019年
4月1日からは、社内研究機関の「ユニバーサルイベント研究
所」と統合し、より包括的な研究機関として活動しています。



Positive Impactとの連携

2014年、イベント分野のサステナビリティ教育を行うイギ
リスの団体Positive Impact(本部:マンチェスター)と
連携し、日本事務局を開設しました。日本と世界を繋ぐ架け
橋として、国内外の最新サステナブルイベント事例や情報
を発信しています。

サステナビリティへの取り組み概要

テーマ: ESG	テーマ: ISO26000	会社の取り組み:ISO20121		関連するSDGs
		重要課題	主な取り組み目標	
環境	環境	省資源、省エネルギーの 推進	エネルギー使用量の削減 クリーンエネルギーの活用	   
		廃棄物管理	廃棄物の抑制、適正な処理 リサイクルの推進	
		森林資源の保護 生物多様性の保護	グリーン購入、エシカル消費の推進 イベント資材へのエコ素材の活用	
社会	人権	ダイバーシティ& インクルージョン 人権尊重	平等な労働環境の整備 女性の活躍推進 障がい者雇用と支援体制の強化	  
	コミュニティへの 参画・発展	コミュニティへの参画 地域貢献 教育および文化 健康・ウェルネス	地域行事への参画、ボランティア参加 ユニバーサルイベントの増加 スポーツ体験教室の開催 サステナビリティ教育の実施	  
		災害支援	災害からの早期復興	
	消費者課題	安全・安心の確保	イベント会場の安全管理 交通違反・事故ゼロ 提供品質の向上、提供サービスの拡大	 
		情報の適切な処理	情報漏えいゼロ 適時適切な情報開示の実践	
ガバナンス	労働慣行	労働安全衛生	働き方改革法案の順守 ワークライフバランスの向上 社員の健康レベルの向上 労働災害の減少	 
		人材育成	教育・研修機会の提供 社員の自発的な成長の支援	
	組織統治	コーポレート・ガバナンス	内部統制の強化 外部意見の経営への取り込み	 
		リスクマネジメント	定期的なリスク認識と対策の見直し	
	公正な事業慣行	コンプライアンス	コンプライアンスの徹底 ハラスメント教育	 
		公正な競争・取引	下請法等の取引に関する法令の順守	

コーポレート・ガバナンスと内部統制

基本的な考え方

当社は「セレスポの幸福」の実現に向け、中長期的な企業価値の向上とステークホルダーとの良好な関係の維持・発展に努めております。次の考え方に基づき、コーポレート・ガバナンスの充実に継続的に取り組んでまいります。

- 1 健全性と透明性が確保された迅速な意思決定を可能とする体制整備を進める
- 2 株主の権利を尊重し、平等性・透明性を確保する
- 3 会社情報を適切に開示する
- 4 株主総会を株主との対話の場と位置付け、株主視点に立った真摯な対応を実践する
- 5 SDGsへの取り組みを進めることで企業理念の実践に努める

コーポレート・ガバナンス体制

取締役会

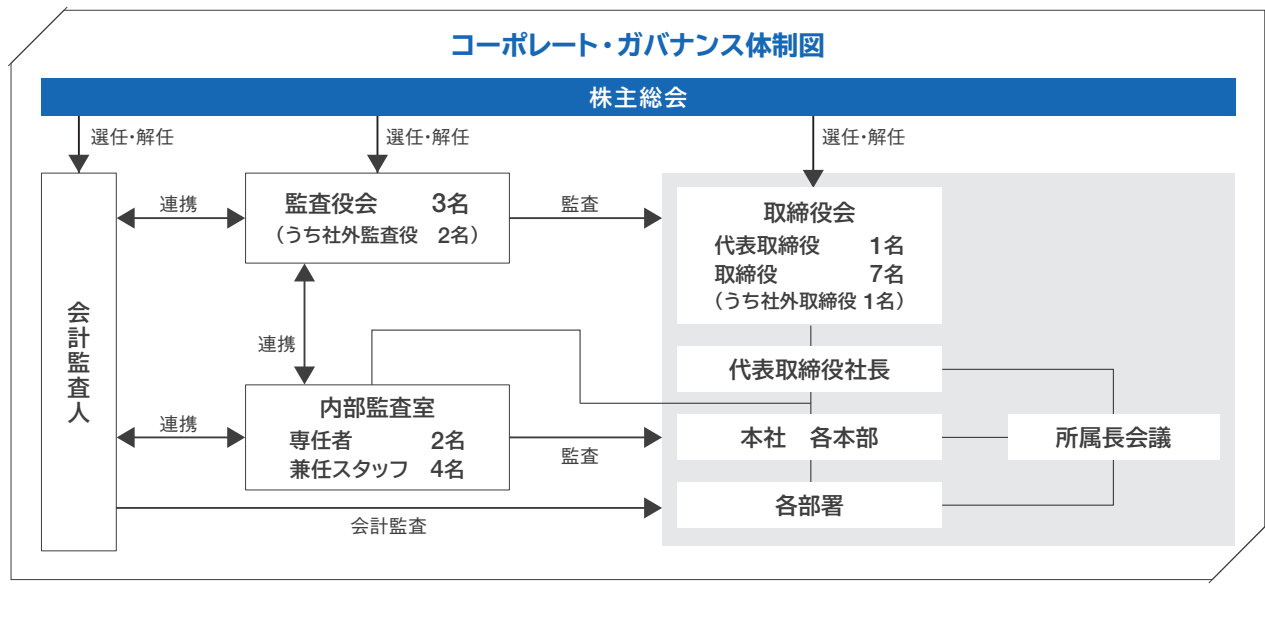
取締役8名(うち、社外取締役1名)、監査役3名(うち、社外監査役2名)で構成され、月1回以上開催。経営に関する重要事項を審議・決定しております。

監査役会

監査役3名(うち、社外監査役2名)で構成され、月1回以上開催。監査役会で定めた監査方針に基づき、取締役の業務執行の監督を実施するほか、重要な社内会議での意見陳述を行っております。

所属長会議

代表取締役、担当取締役、監査役、各部門および各部署の責任者で構成され、月1回以上開催。各部門の業務執行状況の管理、部門間での情報共有ならびに相互チェックを実施しております。



内部統制システムの強化

当社は、会社法に基づき「内部統制システム構築に関する基本方針」を定めており、取締役会はその整備状況を確認・検証し、必要に応じて見直しを行っております。

また、内部統制に関する組織や機能を統括するための内部統制委員会を設置し、内部統制システムの強化に努めています。

取締役



稲葉 利彦
代表取締役社長

1954年生まれ。株式会社伊勢丹にて2001年より天津伊勢丹の社長を務め、中国一と評判の百貨店を天津に出店。2007年、株式会社セレスポへ入社。2008年、代表取締役社長に就任。社員・顧客をはじめとするステークホルダーとの良好な互惠関係を強化し、継続企業の確立に取り組む。(一社)日本イベント産業振興協会理事。



田代 剛
専務取締役

1964年生まれ。1983年、株式会社セレスポ入社。名古屋支店長として中部エリアの営業力および施工力強化に取り組む。2007年、取締役就任。行幸啓行事をはじめとする大型案件の元請受注環境を確立し、競争事業を牽引する。現在、統括本部長兼事業本部長として中長期の事業戦略立案およびそれに向けた組織体制の強化を担当。



鎌田 義次
常務取締役

1963年生まれ。物流業・メーカー等を経て、1995年、株式会社セレスポ入社。仙台支店長、東京支店長などを歴任。2008年より、スポーツ事業部長としてスポーツイベントの売上拡大およびスポーツ業界との関係構築に努め、スポーツ事業を牽引。2012年、取締役就任。現在、統括本部副本部長兼事業本部副本部長として営業力強化に取り組む。



生田 茂
常務取締役

1963年生まれ。1982年、株式会社セレスポ入社。営業・施工の幅広い分野に従事し、東京支店長、生産本部長を歴任。2015年に取締役就任後は事業支援部長として全社にわたる業務構造改革を推進。現在、統括本部副本部長兼コーポレート本部長としてガバナンスおよびコンプライアンス意識向上を担当し、企業価値向上に取り組む。



宮田 一哉
取締役

1958年生まれ。1980年、株式会社セレスポ入社。営業・施工の幅広い分野に従事し、群馬支店長、生産本部長などを歴任。2007年、取締役就任。イベント制作の現場の視点から経営戦略を立案および推進。現在、社長室長として、経営理念の社内への浸透および社外との関係構築に努め、継続企業を確立するための基盤強化に取り組む。



堀貫 貴司
取締役

1961年生まれ。株式会社三菱銀行にて国内支店長、本部における拠点担当副部長などを歴任。2013年、執行役員経理部長として株式会社セレスポに入社。2014年、取締役に就任。本社部門の組織体制の整備に尽力。現在、コーポレート本部副本部長兼人事総務部長として法務、財務、会計、人事、IRなど管理部門関連業務全般を幅広く管掌する。



松田 英彦
取締役

1962年生まれ。1985年、株式会社セレスポに入社。東京支店長やさいたま支店長などを歴任。イベント制作の現場責任者として営業・制作に関する幅広い業務に従事。2019年、取締役就任。現在、事業本部副本部長兼事業支援部長兼営業推進室長として営業開発および社外連携を推進するとともに、全社にわたる営業部門関連業務の支援を担当する。



野末 正博
社外取締役

1949年生まれ。株式会社日本興業銀行(現みずほFG)で企業審査、営業企画、業務効率化等を担当、本店部長、支店長を経て常任監査役、その後年金資金運用基金(現GPIF)理事、上場会社代表取締役社長等、企業経営から年金投資まで幅広く役員を歴任。2015年、社外取締役に就任。日本内部統制研究学会、日本取締役協会会員。

監査役



松井 敏彦
常勤社外監査役

1952年生まれ。1977年、東京電力株式会社に入社し、IT部門に長く従事。その間、電気事業連合会に派遣。その後、株式会社日本フットボールヴィレッジ取締役(非常勤)、東京電力株式会社理事、東京パワーテックノロジー株式会社常務取締役、尾瀬山小屋組合長を歴任。2019年、株式会社セレスポ入社。常勤社外監査役として、コーポレート・ガバナンス向上のため、適法性と妥当性の観点から監査を推進する。



水越 潤
監査役

1949年生まれ。株式会社伊勢丹にて、販売推進、営業企画、人事等を担当し、1999年より、台湾高雄市大統百貨店(伊勢丹との業務提携)の社長を務め、新店の出店計画から、営業まで、経営を担う。2007年、株式会社セレスポ入社。常務、副社長、内部監査室長を経て、2015年6月より監査役に就任。豊富な経験と広い見識を生かし、監査役として株主の目、法律の目、社会の目の3つの目を働かせ、実効性の高い監査を行う。



奥田 かつ枝
社外監査役

1963年生まれ。三菱信託銀行株式会社にて不動産開発、国際部門予算・財務管理を担当。その後不動産鑑定業界に転じ公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会常務理事などを歴任。現在、株式会社九段都市鑑定代表取締役、ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人執行役員、東京地方裁判所調停協会幹事長、明治大学専門職大学院兼任講師、国土交通省審議会専門委員などを兼務。法務、経営、財務など幅広い知見を有する。

11年間の主要財務・非財務データ

	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
売上高 (百万円)	7,671	7,378	7,555	9,197	9,804	10,361	10,742	12,272	12,607	11,975	16,589
営業利益 (百万円)	41	△235	46	239	348	381	422	575	593	474	1,208
経常利益 (百万円)	49	△ 198	135	253	357	397	438	592	608	485	1,220
当期純利益 (百万円)	1	△ 262	85	125	201	254	271	378	379	308	802
総資産額 (百万円)	6,551	6,428	6,662	6,865	6,301	6,492	6,682	7,117	7,758	7,825	8,987
純資産額 (百万円)	3,885	3,573	3,592	3,720	3,895	4,112	4,303	4,599	4,900	5,102	5,797
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△ 4	25	147	169	201	245	76	672	560	77	1,557
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△ 167	110	△ 18	129	111	38	7	△ 251	△ 76	△ 31	△ 21
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	198	65	47	△ 82	△ 652	△ 308	△ 103	△ 111	△ 72	△ 124	△ 103
売上高営業利益率 (%)	0.5	△ 3.2	0.6	2.6	3.6	3.7	3.9	4.7	4.7	4.0	7.3
総資産当期純利益率 (ROA) (%)	0.0	△ 4.1	1.3	1.8	3.2	3.9	4.1	5.3	4.9	3.9	8.9
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	0.0	△ 7.0	2.4	3.4	5.2	6.3	6.5	8.5	8.0	6.2	14.7
1株当たり当期純利益 (EPS) (円)	0.30	△ 47.77	15.60	22.83	36.81	46.34	49.59	69.01	69.18	56.23	145.41
1株当たり純資産 (BPS) (円)	707.93	651.29	654.96	678.40	710.53	750.21	785.12	839.25	894.19	927.60	1,049.59
自己資本比率 (%)	59.3	55.6	53.9	54.2	61.8	63.3	64.4	64.6	63.2	65.2	64.5
1株当たり年間配当金 (円)	12.00	6.00	12.00	12.00	18.00	22.00	30.00	40.00	41.00	42.00	60.00
配当性向 (%)	2,000.0	—	38.5	26.3	24.4	23.7	30.3	29.0	29.6	37.3	20.6
従業員数 (人)	410	387	368	372	367	372	390	397	406	409	415
平均年齢 (歳)	37歳6か月	37歳11か月	39歳2か月	39歳10か月	40歳3か月	40歳10か月	41歳1か月	41歳9か月	42歳7か月	42歳0か月	41歳8か月
新卒採用数 (人)	27	11	0	10	11	13	18	11	12	13	18
中途採用数 (人)	2	0	0	3	5	5	4	5	4	3	4
離職率 (%)	5.1	6.8	3.6	3.8	3.7	2.0	2.9	2.8	3.2	3.4	2.8
1人当たり営業利益 (千円)	101	△ 609	125	644	949	1,026	1,084	1,449	1,463	1,160	2,913
売上高／顧客 (千円)	2,284	2,134	2,192	2,485	2,597	2,780	2,973	3,433	3,833	3,766	5,691
売上高／件 (千円)	575	552	580	643	664	762	821	973	1,049	1,087	1,648
協賛団体数 (団体)	2	4	5	6	6	7	8	11	10	10	11

※2020年4月1日付で株式分割 (1株→2株)を実施したため、2020/3以前の「1株当たり当期純利益 (EPS)」「1株当たり純資産 (BPS)」は、当該株式分割の影響を考慮した金額で記載しております。「1株当たり年間配当金」については、当該株式分割前の金額を記載しております。

会社情報

会社概要（2020年3月31日現在）

商 号	株式会社セレスポ 英文社名：CERESPO CO.,LTD.
証券コード	9625
本 社	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 TEL：03 (5974) 1111／FAX：03 (5394) 7651
設立年月日	1977年7月21日
資本金	13億7,067万円
事業内容	1 イベント、プロモーション、スポーツ大会、式典、 レクリエーションの企画、制作、会場設営、運営および進行 2 上記に関わる物品・什器備品の企画、開発、製造、販売およびレンタル 3 土木ならびに建築の設計監理および施工 4 警備業 5 上記に附帯する一切の業務
登録・許可	建設業許可：東京都知事 許可（特）第140322号 一級建築士事務所：東京都知事登録 第42544号 警備業認定：東京都公安委員会 第30003046号 屋外広告業登録：東京都屋外広告業登録 都広（1）第1137号 プライバシーマーク：第17000187号 ISO20121認証取得
従業員数	415名

株式情報（2020年3月31日現在） ※2020年4月1日付で株式分割（1株→2株）を実施しました。

株式の状況			
発行可能株式総数		11,000,000株	
発行済株式総数		2,851,750株	
株主数		2,184名	
大株主			
株主名	持株数（株）	持株比率（％）	
株式会社スマイル	550,000	19.91	
セレスポ従業員持株会	235,550	8.53	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	97,400	3.53	
日本証券金融株式会社	95,700	3.46	
株式会社SBI証券	78,500	2.84	
三木 征一郎	77,862	2.82	
稲葉 利彦	59,918	2.17	
村山 雅智	53,000	1.92	
衣笠 純	47,300	1.71	
北原 美子	40,000	1.45	

（注）1.当社は、自己株式を89,762株保有しておりますが、上記株主からは除外しております。 2.持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

役員一覧（2020年7月1日現在）

代表取締役社長	稲葉 利彦
専務取締役	田代 剛
常務取締役	鎌田 義次
常務取締役	生田 茂
取締役	宮田 一哉
取締役	堀貴 貴司
取締役	松田 英彦
社外取締役	野末 正博
常勤社外監査役	松井 敏彦
監査役	水越 潤
社外監査役	奥田 かつ枝

営業拠点所在地（2020年3月31日現在）



営業拠点一覧（2020年3月31日現在）

本 社	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	Tel: 03-5974-1111
建設式典事業部	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-20-2 2階D室	Tel: 03-5974-1122
札幌支店	〒003-0809 北海道札幌市白石区菊水9条3丁目5-13	Tel: 011-821-1810
仙台支店	〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町1-3-17	Tel: 022-782-0161
福島支店	〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字勝木沢23-1	Tel: 024-935-2233
栃木営業所	〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉4-8-21 Uビル202号室	Tel: 028-680-5573
茨城営業所	〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町716-3（株）日宣メディックス本社 内	Tel: 029-353-6500
群馬支店	〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1073-36	Tel: 027-265-4211
大宮ソニックオフィス	〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 大宮ソニックシティB1F	Tel: 048-647-4112
さいたま支店	〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤7-1-1 大黒屋オフィスビル4F	Tel: 048-825-3271
ゴルフーナメントオフィス	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井578-1	Tel: 049-259-2631
千葉支店	〒264-0017 千葉県千葉市若葉区加曽利町852-2	Tel: 043-214-8448
東京支店	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-20-7 末広ビル3F	Tel: 03-5974-5555
新宿営業所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-2-5 Daiwa新宿ウエストビル3階	Tel: 03-5937-3601
SP・PRイベントオフィス	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-20-7 末広ビル3F	Tel: 03-5974-1190
西東京支店	〒186-0012 東京都国立市泉1-4-4	Tel: 042-574-3020
横浜支店	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-2-6 VORT新横浜9F	Tel: 045-473-2555
厚木営業所	〒243-0032 神奈川県厚木市恩名1-6-59 OMビル4-A	Tel: 046-222-3551
岐阜支店	〒500-8367 岐阜県岐阜市宇佐南4-8-24 宇佐南4丁目事務所101	Tel: 058-274-4112
名古屋支店	〒463-0034 愛知県名古屋守山守山区四軒家2-303	Tel: 052-771-7510
豊田営業所	〒471-0868 愛知県豊田市神田町1丁目1-1西山地産ビル6F	Tel: 0565-37-3558
三重営業所	〒514-0032 三重県津市中央2-4 三重ビル401号	Tel: 059-213-8150
大阪支店	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-12-12 ニッセイ心斎橋ウエストビル7F	Tel: 06-6258-0050
神戸営業所	〒650-0036 兵庫県神戸市中央区播磨町49 神戸旧居留地平和ビル9F	Tel: 078-335-2711
高松支店	〒761-0450 香川県高松市三谷町5076-2	Tel: 087-888-1009
徳島営業所	〒770-0867 徳島県徳島市新南福島1-4-6 1F	Tel: 088-676-3560
愛媛営業所	〒791-8031 愛媛県松山市北斎院町637-6 セーラー広告（株）愛媛本社 内	Tel: 089-915-5570
福岡支店	〒813-0035 福岡県福岡市東区松崎2-24-12	Tel: 092-663-5550
鹿児島営業所	〒892-0817 鹿児島県鹿児島市小川町10-16 エクステッド小川町201	Tel: 099-216-6094